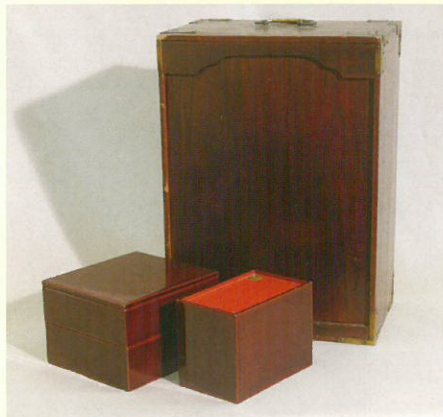


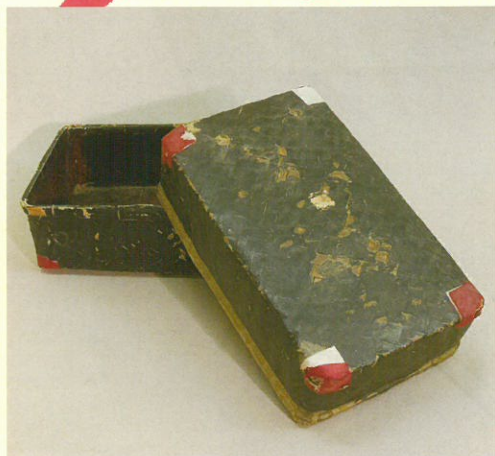
「ハコ」はいろいろ。

私たちの身の回りには、多くのハコがあります。ハコがなくては生活できない、と言っては過言でしょうか。でも、よくよく考えると、生活している家そのものも、そのほとんどが方形の大きな「ハコ」ではないでしょうか。



花見弁当(大正～昭和初期時代)

漢字にしてみると、いろいろなハコをさす「箱」、小さなハコをさす「匣」、竹などで編んだものをさす「筥」、本を収納する「函」など、さまざまに使い分けられていることがわかります。身近な収納を考えても、かつては長持、行李、柳行李、筆筒などと、素材も大きさも使い分けて暮らしを整えており、現在ではフローリングの床に似合う、チェストやクローゼットなどと、ハコ形のもの姿を変えても残り続けています。



はこせこ
筥迫(昭和初期) →

けいこうようこうり
← 携行用行李(明治時代)
すけがわおとまつ
和算家助川音松が、
測量用具を携行する
ために使っていたもの



そんなハコと、時にはそのハコの中で伝え続けられてきた物たちが、資料館にはたくさん収蔵されています。三春の人々はどんなハコを持っていたのか、その中に何を入っていたのか、その代表的なものをご覧いただきたいと思います。また、今回は昨年度に新たに収蔵された資料もご紹介いたします。

主な展示品

旅行用トランクと帽子箱(河野広中使用)
山高帽用紙製帽子箱(河野広中使用)
帽子箱(秋田重季着用・秋田一季寄贈資料)
第九十三国立銀行書類櫃

秋田家定紋付黒棚
秋田家定紋付文庫筆筒
熊田淑軒拝領大日本史



【交通】

- JR磐越東線三春駅から徒歩で約30分
- 磐越自動車道船引三春・郡山東各ICから車で約10分

【駐車場】

普通乗用車は資料館前駐車場、または三春町役場周辺の公共施設駐車場をご利用ください。

※ 役場新庁舎建設により、資料館への経路が変わっております。詳しくはホームページをご覧ください。

三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館

〒963-7758 福島県田村郡三春町字桜谷5番地
電話 0247-62-5263 FAX 0247-62-6953